

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和 5 年 2 月 24 日(金)	確認目的	希釈用海水の管理 (要求事項②関係)
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他

ALPS 処理水は、海水で 100 倍以上に希釈して放出するとしている。希釈用の海水を取水するための取水路の状況を確認した。なお、東京電力は、5号機取水路を ALPS 処理水の希釈用海水の取水路に転用するにあたり堆積した土砂等の撤去作業を行った。

- ・ 取水路には希釈用海水に含まれる異物を取り除くためのスクリーン設備(除塵機)が4箇所設置されていた。(写真1)また取水路内の堆砂は除去されていた。
- ・ GM サーベイメーターを用いて測定を行ったところ、バックグラウンドが30cpm、取水路床面が60cpmであり、汚染は確認されなかった。(写真2)
- ・ その他の場所についても、東京電力が実施した測定結果(放射線管理記録)を確認したところ、全ての場所でバックグラウンド同等(150cpm)であった。(写真3)
- ・ 取水路の奥にあるポンプ室の堆砂も撤去されていた。

確認  
結果



(写真1-1) スクリーン設備の地上部の様子



(写真1-2) 取水路のスクリーンの様子



(写真2) 取水路床面の汚染を測定している様子



(写真3) 取水路及びポンプ室(奥)の様子

【東京電力からの聴取内容】

- ・ 取水路の堆砂は、震災以降これまでに2回清掃しているが、1回目は2m以上、2回目は1m程であった。今後も定期的に清掃を実施する。
- ・ スクリーン設備は、取水する海水の量を考慮して、バケット型とネット型を交互に配置している。